

平成 18 年 7 月 7 日  
株式会社 ヤオコー

お客様 各位

## お詫びとお知らせ

平素は格別のご愛顧を賜わり厚くお礼申し上げます。

このたび、弊社一部店舗にて 6 月 29 日・30 日に販売しました「ミッドランドスウィートバナナ」に、「縫い針」が混入している事実が複数件発生致しました。現在、警察と協力して調査を致しておりますが、流通過程で混入された可能性が高いと判明いたしました。お客様にご迷惑、ご心配をおかけ致しましたことを心よりお詫び申し上げ、この間の経緯をご報告申し上げます。

7月1日(土)

16時 岡部店で6月29日(木)にお買上になったフィリピン産「ミッドランドスウィートバナナ」に縫い針が混入していたとお客様から店舗に電話がありました。店長が訪問しバナナの先端部分に長さ3.5cmの縫い針が刺さっていたのを確認。召し上がる前に気づかれたので、幸いお怪我はございませんでした。店長が直ちに地区担当部長及びお客様相談室に報告すると共に深谷警察署への届出を致しました。同時に仕入担当から仕入先に連絡を行いました。

7月2日(日)

10時 岡部店で6月29日(木)にお買上になったフィリピン産「ミッドランドスウィートバナナ」に縫い針が混入していたとお客様がご来店。店長が対応し、「食べている途中で硬いものが当たったが長さ3.5cmの縫い針が刺さっていた。」とのお話を伺いました。幸いお怪我はございませんでした。店長が地区担当部長及びお客様相談室に報告をし、深谷警察署への届出を致しました。

午後 警戒のため、売場に警備員を緊急配備致しました。

7月3日(月)

10時 岡部店に警備員を継続配備し、<お詫び>の告知ビラを掲示致しました。

10時 小川SC店で6月29日(木)にお買上になったフィリピン産「ミッドランドスウィートバナナ」に縫い針が混入していたとお客様からご連絡を頂きました。次長が訪問。長さ3.5cmの縫い針が刺さっているのを確認しました。幸いにお怪我はございませんでした。次長が地区担当部長及びお客様相談室に報告し、小川警察署へ届出を致しました。

13時 岡部店以外に小川SC店でも発生しましたので、再度全店に陳列時の確認や店内巡回の強化など「安全確保対策」を強化するよう指示し、直ちに実行致しました。

17時 株式会社 ドール側から「複数店舗での発生でもあり、納品前の混入も考えられるので安全確保のために、当該ロットの店舗在庫について全量回収したい」旨の文書での申し入れがありました。代替品の手配と投入を図ると共に全店の売場より対象品を撤去し、販売を中断、お詫び文の掲示を致しました。

7月4日(火)

10時 仕入先の株式会社 ケーアイフレッシュアクセスより納入のバナナは全品を金属探知機で

検査済みのものに切り替え、販売を再開致しました。また、全店でバナナの目視チェックといたずら防止の監視を継続致しました。

18時 みどりが丘店で6月30日（金）にお買上になったフィリピン産「ミッドランドスウィートバナナ」に縫い針が混入していたとお客様がご来店。次長が対応。長さ3.5cmの縫い針が刺さっておりました。幸いにお怪我はございませんでした。次長がお客様相談室に報告し、小川警察署への届出を致しました。

18時 みどりが丘店で3店舗目であり、バナナの販売を継続するにあたり、全店に《お詫びとお願い》の案内文を掲示し、店舗での商品のチェックを一層強化するための方法を取り決めて、全店に指示を出しました。

21時 仕入先の株式会社 ケーアイフレッシュアクセス及び供給者の株式会社 ドールが来社しました。

ドール取締役から「6月29日には、ヤオコー岡部店以外にも、北海道及び愛知で同様の縫い針が混入されていた事実を認識。両件とも発生が1件の為事件性が少なかったが、ヤオコーでは複数発生し事件性があると判断されマスコミに表面化した。弊社は7月3日（月）に深谷警察署及び、小川警察署にその事実を報告した。同日、産地を含め流通段階での縫い針の混入の可能性が高いと判断し当該ロットの流通在庫及び店頭での回収を決定した。」旨の説明がありました。

ヤオコーでは、最終的な結論が出るまで引き続き商品チェックの強化をしてまいります。また、品質の確認には万全を期しておりますが、弊店でバナナをお買上のお客様で、ご心配のお客様はお取替えやご返金をさせていただきますので、レシート及び現品をご持参のうえ、お近くの店舗サービスカウンターまでお申し出下さい。

以 上